

2023 年度 事業報告書

学校法人 駿河台学園

<1>沿革

駿台グループのスタートは、創立者である山崎寿春が 1918 年に開いた東京高等受験講習会です。当時、大学への進学を目標とする学生にとって、大きな課題になっていたのが英語です。現在のように英語が日本人の生活の一部になっている時代ではありません。外国人も少なく、学校の授業以外で英語に接する機会もほとんどなかった彼らにとって、もっとも普通の勉強方法は教科書をひたすら暗記することでした。アメリカで学んだ山崎にとって、それがいかに不合理な方法に思えたかは想像に難くありません。

エール大学大学院でマスター・オブ・アーツの学位を取得して帰国した山崎は、明治大学で教鞭を執る傍ら、受験生の指導にもあたることになります。そこで、ひたむきに努力する学生たちに、より効率的な学習法を教えたいと、1916 年に雑誌『受験英語』を創刊。この雑誌が学生たちに大いに歓迎されて成功を収め、2年後の東京高等受験講習会開設の礎となったのです。

1927 年には東京高等受験講習会から発展した駿台高等豫備学校を東京・神田駿河台に創設。これが「駿台」と「予備学校」が校名として使われた最初であり、同時に駿河台の地が本拠と定まりました。その後、予備学校を全国に開校するとともに、1970 年駿台電子計算機専門学校の開校を皮切りに、幼稚園から大学、大学院、さらに海外に在留する邦人子女の進学受験指導を行う海外校など、予備学校以外の分野にも教育活動を広げ、2018 年に創立 100 周年を迎えました。

駿河台学園・駿台グループ 略年表

- 1918 山崎寿春、東京・神田錦町に「東京高等受験講習会」を創設
- 1927 東京・神田駿河台に駿台高等豫備学校創設(現・駿台予備学校)
- 1930 駿台高等予備校に改称し、各種学校として認可
- 1940 神田駿河台に初の校舎完成(現・駿台予備学校お茶の水1号館)
- 1952 駿台高等予備校、学校法人駿河台学園として認可
- 1964 山崎春之、理事長就任
- 1968 株式会社駿台文庫設立(現・駿台文庫株式会社)
- 1970 駿台電子計算機専門学校開校(現・駿台電子情報&ビジネス専門学校)
小中学生部門「駿台進学教室」開設(現・駿台中学部)
- 1971 京都駿台予備校開校(現・駿台予備学校京都校)
- 1977 駿河台学園第一幼稚園開園(現・駿河台大学第一幼稚園)
- 1980 駿台高等予備校を駿台予備学校に改称
駿台甲府高等学校開校
- 1982 全国入試模試センター設立
- 1986 エスエイティーティー株式会社設立
- 1987 駿河台大学開学
- 1992 駿台国際教育センター設立
駿台シンガポール校開校
駿台教育研究所設立(現・駿台教育センター株式会)
- 1993 駿台甲府中学校開校

- 1994 駿台小中学部(札幌)開設
- 1995 駿台個別教育センター設立
- 2002 駿台甲府小学校開校
- 2006 山崎良子、理事長就任
- 2013 駿台・浜学園(首都圏)開設
- 2015 一般社団法人 日本経済団体連合会入会
駿台教育センター株式会社設立
- 2017 駿台高校部開設
駿台・浜学園(関西)開設
- 2018 創立 100 周年
株式会社 Z 会と業務提携
- 2019 日本語能力評価試験協会開設
株式会社日本データサイエンス研究所と業務提携
株式会社リソー教育と資本業務提携
atama plus 株式会社と業務提携
- 2021 「一般財団法人駿台学び財団」設立
医学部予備校プロメディカスと資本業務提携

<2>理念

一世紀を通じてゆるぎない駿河台学園の理念は「愛情教育」です。創立者山崎寿春が提唱したこの理念は、学園のすべての教育の場で今日も受け継がれています。

志望校を目指す学生たちの熱意を、教育者として受けとめる。彼らの資質を見極め、愛情をもってそれぞれに応じた適切な指導をする。講師だけではなく、日々学生と接する職員たちも、この「愛情教育」のもとで彼らを支えています。

例えば駿台予備学校の授業は、単に入試問題を解くためのテクニックを教えるものではありません。学生が問題の要点を見極め、正解への道筋を自分で発見できる、本物の学力を養成することに力点が置かれています。学生たちはこうして学ぶ喜びを知り、学力の伸びを実感する。同時に学ぶ意欲を高めていく。そこに「愛情教育」の成果があります。

駿台は、常に時代が求める教育ニーズを見極め、そのニーズに応え、成長し続けながら歴史を重ねてきました。いま、社会の変化にともない、受験システムの変更、大学の学部や学科の再編、指導方法の多様化、国際化への対応など、日本の教育環境は大きく変わってきています。駿台はこれからも「愛情教育」の理念のもと、常に未来へ目を向けながら、様々な教育の場において独自の役割を担っていきます。

愛情教育

「愛情教育」の理念は、駿河台学園の創立者山崎寿春が提唱したもので、現在にいたるまで駿台の全活動の基盤となっています。山崎は「学生一人ひとりに対する愛情がなければ、真の教育はできない」という信念を持っており、それを「愛情教育」と表現しました。このような「個々の学生に

対し、その人間性に応じて関わっていく」という教育的アプローチは、駿台予備学校創設(1927年)当時としては他の教育機関には見られない、山崎独自のものでした。また、講師の役割は「学生が生来持っている能力を十分に掌握し、引き出し、献身的な思いやりを通じて学生を支える、その結果として学生は目標を実現できる」という考えであり、これもまた駿台の歴史を貫くものとなっています。

<3>事業概要

(1) 当期の取り組み

・駿台予備学校

高卒クラスでは、「受験生のためにできる全てを。」を掲げ、あらゆる学力層を志望校合格へ導く指導を実践してまいりました。引き続きタブレットを全員貸与、ICT 学習コンテンツのさらなる充実化を図り、各種研修を通じて指導側のコーチング力も強化しました。プレミアムサポートコースを初めとする各コースにおいて、アダプティブ教材「S-LME(スルメ)」、「atama+」、「知識問題トレーニングアプリ」、「読解力トレーニングアプリ」、「記憶定着アプリ(Monoxer)」、「過去問・分野別演習システム」などを活用し、データにもとづいた個別最適学習を実現、学力向上の成果を出しています。

高校生クラス・中学生クラス(現役フロンティア)では、実績のある対面授業に加え、時代の情勢を反映した「AI・ICT ツール」を活用した講座設計、ならびに「オンライン講座」の拡充を行いました。

・駿台電子情報アンドビジネス専門学校

コロナ禍に導入した学内WEBシステムにより、「学生への配布資料・レポート・テストのペーパーレス促進」「交通遮断時のオンライン授業への即時切り替え」「登校できない学生へのオンライン対応」「遠方に住んでいる入学希望者への個別入学相談」などを新たに実現しました。

資格取得では、情報ビジネス学科において MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)を全員が取得、他にも基本情報処理技術者試験 78%、WEB デザイナー検定 100%合格という結果になりました。

留学生については、年 2 回校内で実施する日本語能力評価試験(JPET)対策が就職にも直結したこともあり、就職内定率 87.5%と前年から大幅に改善しております。

・駿台観光アンド外語ビジネス専門学校

韓国語学科において、留学システムを大幅に変革しました。従来の短期留学(3週間~4週間)に加え、新たに中期留学(3ヵ月)、長期留学(6ヵ月)の3期間からの自由選択システムに移行しました。また、TOPIK(韓国語能力試験)5級・6級合格実績が評価され、韓国教育財団から、奨学生制度適用者として3名が選出されました。さらに、サービス接遇実務検定2級合格率が評価され、秘書技能検定などを主催する実務技能検定協会から、団体優秀賞を受賞しました。

留学生クラスにおいては、2年連続で、日本留学AWARDS西日本地区専門学校(社会・文化系)部門に入賞しました。

就職希望者内定状況は、日本人・留学生ともに 100%を達成しました。大学編入コースでは、3年次編入において、3年連続となる 100%を達成しました。韓国語学科においても、多くの学生が国

立大学含め、韓国の大学校への編入を決めています。

・駿台法律経済アンドビジネス専門学校

大学編入試験、法律系資格合格実績の向上を目指し、全面对面授業、各種特別指導を行いました。日本人学生の就職では、民間企業の就職を中心に、不動産関連企業など 93%の内定率となりました。国家試験合格実績では、宅建士合格率は、63.2%(全国平均合格率 17%)となり、引き続き高い合格率を維持しております。行政書士試験につきましては 1 名が合格しました。国家資格である行政書士試験をはじめ宅建士試験、賃貸不動産経営管理試験に延べ 13 名が合格しました。留学生の就職では、就職希望者の 86%が内定しました。

大学編入につきましては、国立小樽商科大学、独協大学、神奈川大学など 12 名が合格しました。

・駿台外語アンドビジネス専門学校

英語ビジネス学科を英語学科に統合、コース再編を行い、英語学科の既存 3 コース(総合英語/英語コミュニケーション/留学)に英語ビジネスコースを加えて、4 コースより進路・志望に応じて選択できるようになりました。

留学については、夏期韓国留学には、中央大、祥明大合わせて 64 名が参加し、春期中国留学には、華東師範大に 7 名が参加しました。国内大学編入については、全学科から横断的に選択できる「大学編入対策授業」を設置、合同授業として実施しております。

就職希望者内定状況は、日本人コースは 82%(エアライン・英語・中国語学科は 100%)、留学生コースは 65%となっております。

・駿台トラベルアンドホテル専門学校

トラベル学科に企業実習に多くの時間を割く「企業実習コース」に加えて、授業を中心とした「授業集中コース」を新たに設置しました。コロナによって延期していた研修旅行は、トラベル学科は香港研修、ホテル学科は沖縄研修を実施し、ブライダル学科は円安・物価高騰のためハワイから沖縄研修に替えて実施しました。

留学生コースの国際観光専科は、就職活動の早期化に合わせて1・2年次のカリキュラムを一部変更しました。また、2年次の後期選択授業で、留学生と日本人の異文化交流を目的として「比較文化」および全て英語で世界の文化等を話し合う「All About The World」の授業を実施しました。

就職希望内定率は、日本人コース 100%、留学生コース 93.8%となり、いずれも前年はもとより、コロナ禍前 2019 年度を上回る結果となりました。

(2) 駿河台学園 設置校(2024 年 3 月 31 日現在)

- ・駿台予備学校札幌校
- ・駿台予備学校仙台校
- ・駿台予備学校
- ・駿台予備学校池袋校
- ・駿台予備学校立川校

- ・駿台予備学校町田校
- ・駿台予備学校大宮校
- ・駿台予備学校横浜校
- ・駿台予備学校津田沼校
- ・駿台予備学校柏校
- ・駿台予備学校浜松校
- ・駿台予備学校名古屋校
- ・駿台予備学校京都校
- ・駿台予備学校京都南校
- ・駿台予備学校大阪校
- ・駿台予備学校大阪南校
- ・駿台予備学校上本町校
- ・駿台予備学校神戸校
- ・駿台予備学校広島校
- ・駿台予備学校福岡校
- ・駿台電子情報アンドビジネス専門学校
- ・駿台法律経済アンドビジネス専門学校
- ・駿台外語アンドビジネス専門学校
- ・駿台トラベルアンドホテル専門学校
- ・駿台観光アンド外語ビジネス専門学校

(3) 学生数・教職員数(2023年度開講時点)

- ・学生数 19,000人
- ・教職員数 650人(非常勤・管理部門等を除く)

(4) 駿台グループ 法人・事業一覧 (2024年3月31日現在)

- ・学校法人駿河台学園
- ・駿台教育センター株式会社
 - 駿台現役フロンティア校
 - 駿台個別教育センター
 - 駿台中学部(小・中学生クラス)
 - 駿台高校部
 - 駿台医系ミノル
 - 駿台教育研究所
 - 駿台教育探究セミナー
 - 駿台通信制サポート校
 - 駿台中学生テスト
 - 駿台Diverse

- ・駿台文庫株式会社
学習参考書の編集・発行
- ・駿台国際教育センター株式会社
帰国生大学受験コース
帰国生中学入試・高校入試コース
SUNDAI GLOBAL CLUB
駿台海外校
- ・エスエイティーティー株式会社
eラーニング事業
学校向けシステム開発事業
- ・株式会社manabo
スマホ家庭教師「manabo」開発・運用
- ・駿台教育研究株式会社
駿台小中学部(札幌)
- ・株式会社駿台教育研究所
駿台・浜学園
駿台個別 MIRAI
- ・株式会社プロメディカス
医学部予備校プロメディカス
- ・学校法人駿台甲府学園
駿台甲府高等学校
駿台甲府中学校
駿台甲府小学校

資金収支計算書

令和 5年4月 1日から

令和 6年3月31日まで

(単位 円)

| 収入の部 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 16,465,968,000 | 16,469,851,120 | △ 3,883,120 |
| 手数料収入 | 14,634,000 | 15,951,000 | △ 1,317,000 |
| 寄付金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 補助金収入 | 2,290,000 | 2,151,356 | 138,644 |
| 資産売却収入 | 450,000 | 450,000 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 8,540,775,000 | 8,646,730,406 | △ 105,955,406 |
| 受取利息・配当金収入 | 192,648,000 | 195,839,270 | △ 3,191,270 |
| 雑収入 | 1,076,640,000 | 1,049,479,702 | 27,160,298 |
| 借入金等収入 | 4,000,000,000 | 7,664,000,000 | △ 3,664,000,000 |
| 前受金収入 | 9,524,800,000 | 8,928,375,378 | 596,424,622 |
| その他の収入 | 15,834,200,000 | 15,612,541,270 | 221,658,730 |
| 内部資金収入 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 資金収入調整勘定 | △ 9,851,590,000 | △ 9,729,646,362 | △ 121,943,638 |
| 前年度繰越支払資金 | 17,599,905,000 | 17,599,904,159 | 841 |
| 収入の部合計 | 63,430,720,000 | 66,485,627,299 | △ 3,054,907,299 |
| 支出の部 | | | |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人件費支出 | 8,685,204,000 | 8,637,028,927 | 48,175,073 |
| 教育研究経費支出 | 11,107,291,000 | 11,002,825,884 | 104,465,116 |
| 管理経費支出 | 1,635,552,000 | 1,615,103,204 | 20,448,796 |
| 借入金等利息支出 | 64,741,000 | 65,416,219 | △ 675,219 |
| 借入金等返済支出 | 6,506,000,000 | 10,170,000,000 | △ 3,664,000,000 |
| 施設関係支出 | 237,315,000 | 344,255,074 | △ 106,940,074 |
| 設備関係支出 | 927,700,000 | 727,419,662 | 200,280,338 |
| 資産運用支出 | 2,400,000 | 2,400,000 | 0 |
| その他の支出 | 16,692,802,000 | 16,827,641,951 | △ 134,839,951 |
| 内部資金支出 | 5,650,000 | 5,640,672 | 9,328 |
| 資金支出調整勘定 | △ 1,358,503,000 | △ 1,857,656,552 | 499,153,552 |
| 翌年度繰越支払資金 | 18,924,568,000 | 18,945,552,258 | △ 20,984,258 |
| 支出の部合計 | 63,430,720,000 | 66,485,627,299 | △ 3,054,907,299 |

事業活動収支計算書

学校法人駿河台学園

令和 5年4月 1日から

令和 6年3月31日まで

(単位 円)

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|---------------|-----------|------------------|------------------|----------------|---------------|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 16,465,968,000 | 16,469,851,120 | △ 3,883,120 |
| | | 手数料 | 14,634,000 | 15,951,000 | △ 1,317,000 |
| | | 寄付金 | 0 | 0 | 0 |
| | | 経常費等補助金 | 1,297,000 | 1,158,356 | 138,644 |
| | | 付随事業収入 | 8,540,775,000 | 8,646,730,406 | △ 105,955,406 |
| | | 雑収入 | 1,076,640,000 | 1,049,479,702 | 27,160,298 |
| | | 教育活動収入計 | 26,099,314,000 | 26,183,170,584 | △ 83,856,584 |
| | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 人件費 | 8,549,400,000 | 8,509,085,032 | 40,314,968 |
| | | 教育研究経費 | 13,796,305,000 | 13,685,372,181 | 110,932,819 |
| | | 管理経費 | 2,043,841,000 | 2,023,147,214 | 20,693,786 |
| | | 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動支出計 | 24,389,546,000 | 24,217,604,427 | 171,941,573 |
| | 教育活動収支差額 | | 1,709,768,000 | 1,965,566,157 | △ 255,798,157 |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 受取利息・配当金 | 192,648,000 | 195,839,270 | △ 3,191,270 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| | 教育活動外収入計 | | 192,648,000 | 195,839,270 | △ 3,191,270 |
| | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 借入金等利息 | 64,741,000 | 65,416,219 | △ 675,219 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 64,741,000 | 65,416,219 | △ 675,219 |
| | 教育活動外収支差額 | | 127,907,000 | 130,423,051 | △ 2,516,051 |
| | 経常収支差額 | | 1,837,675,000 | 2,095,989,208 | △ 258,314,208 |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 993,000 | 993,000 | 0 |
| | 特別収入計 | | 993,000 | 993,000 | 0 |
| | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 資産処分差額 | 65,655,000 | 64,796,946 | 858,054 |
| | | その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 特別支出計 | 65,655,000 | 64,796,946 | 858,054 |
| 特別収支差額 | | △ 64,662,000 | △ 63,803,946 | △ 858,054 | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | 1,773,013,000 | 2,032,185,262 | △ 259,172,262 | |
| 基本金組入額合計 | | △ 1,100,000,000 | △ 1,167,530,594 | 67,530,594 | |
| 当年度収支差額 | | 673,013,000 | 864,654,668 | △ 191,641,668 | |
| 前年度繰越収支差額 | | △ 12,027,242,347 | △ 12,027,242,347 | 0 | |
| 基本金取崩額 | | 0 | 0 | 0 | |
| 翌年度繰越収支差額 | | △ 11,354,229,347 | △ 11,162,587,679 | △ 191,641,668 | |
| 事業活動収入計 | | 26,292,955,000 | 26,380,002,854 | △ 87,047,854 | |
| 事業活動支出計 | | 24,519,942,000 | 24,347,817,592 | 172,124,408 | |

貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位 円)

| 資産の部 | | | |
|------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 科 目 | 本 年 度 末 | 前 年 度 末 | 増 減 |
| 固定資産 | (115,398,489,615) | (117,962,085,660) | (△ 2,563,596,045) |
| 有形固定資産 | (96,100,545,823) | (97,756,273,897) | (△ 1,655,728,074) |
| 土地 | 62,567,715,298 | 62,567,715,298 | 0 |
| 建物 | 31,800,372,426 | 33,282,311,377 | △ 1,481,938,951 |
| 構築物 | 235,404,494 | 274,507,959 | △ 39,103,465 |
| 教育研究用機器備品 | 674,344,105 | 796,976,696 | △ 122,632,591 |
| 管理用機器備品 | 553,071,958 | 565,125,025 | △ 12,053,067 |
| 図書 | 269,637,540 | 269,637,540 | 0 |
| 車輛 | 2 | 2 | 0 |
| 特定資産 | (1,040,493,628) | (1,040,493,628) | (0) |
| 退職給与引当特定預金 | 1,040,493,628 | 1,040,493,628 | 0 |
| その他の固定資産 | (18,257,450,164) | (19,165,318,135) | (△ 907,867,971) |
| 借地権 | 1,138,793,400 | 1,138,793,400 | 0 |
| 電話加入権 | 55,474,848 | 55,474,848 | 0 |
| 有価証券 | 8,157,785,072 | 8,200,385,072 | △ 42,600,000 |
| ソフトウェア | 2,761,396,306 | 3,144,725,750 | △ 383,329,444 |
| 収益事業元入金 | 898,580,830 | 922,940,158 | △ 24,359,328 |
| 長期貸付金 | 4,209,000,000 | 4,666,200,000 | △ 457,200,000 |
| 保証金敷金 | 928,823,704 | 929,097,904 | △ 274,200 |
| 預け金 | 107,596,004 | 107,701,003 | △ 104,999 |
| 流動資産 | (19,768,930,256) | (18,234,153,138) | (1,534,777,118) |
| 現金預金 | 18,945,552,258 | 17,599,904,159 | 1,345,648,099 |
| 未収入金 | 378,941,482 | 498,778,066 | △ 119,836,584 |
| 前払金 | 14,141,812 | 17,005,564 | △ 2,863,752 |
| 立替金 | 82,281,455 | 82,275,497 | 5,958 |
| 仮払金 | 348,013,249 | 36,189,852 | 311,823,397 |
| | | | |
| 資産の部合計 | 135,167,419,871 | 136,196,238,798 | △ 1,028,818,927 |

貸借対照表
令和 6年 3月31日現在

(単位 円)

| 負債の部 | | | |
|-------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 科 目 | 本 年 度 末 | 前 年 度 末 | 増 減 |
| 固定負債 | (25,294,429,689) | (27,915,212,338) | (△ 2,620,782,649) |
| 長期借入金 | 22,678,000,000 | 25,184,000,000 | △ 2,506,000,000 |
| 退職給与引当金 | 2,201,235,285 | 2,329,179,180 | △ 127,943,895 |
| 預り保証金 | 415,194,404 | 402,033,158 | 13,161,246 |
| 流動負債 | (13,797,778,603) | (14,238,000,143) | (△ 440,221,540) |
| 短期借入金 | 2,506,000,000 | 2,506,000,000 | 0 |
| 未払金 | 1,849,153,760 | 1,759,598,317 | 89,555,443 |
| 前受金 | 8,928,375,378 | 9,351,586,360 | △ 423,210,982 |
| 預り金 | 514,249,465 | 620,815,466 | △ 106,566,001 |
| | | | |
| 負債の部合計 | 39,092,208,292 | 42,153,212,481 | △ 3,061,004,189 |
| 純資産の部 | | | |
| 科 目 | 本 年 度 末 | 前 年 度 末 | 増 減 |
| 基本金 | (107,237,799,258) | (106,070,268,664) | (1,167,530,594) |
| 第1号基本金 | 105,277,799,258 | 104,110,268,664 | 1,167,530,594 |
| 第4号基本金 | 1,960,000,000 | 1,960,000,000 | 0 |
| 繰越収支差額 | (△ 11,162,587,679) | (△ 12,027,242,347) | (864,654,668) |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 11,162,587,679 | △ 12,027,242,347 | 864,654,668 |
| 純資産の部合計 | 96,075,211,579 | 94,043,026,317 | 2,032,185,262 |
| 負債及び純資産の部合計 | 135,167,419,871 | 136,196,238,798 | △ 1,028,818,927 |

令和5年度財産目録

令和 6年 3月31日現在

(一)資産

(単位 円)

| (1)固定資産 | | | |
|------------|---------------------|-------------|-----------------|
| 科 目 | 所在地・種類 | 数 量 | 価 格 |
| 土地 | 東京都千代田区神田駿河台2-12-2他 | 72,404.88㎡ | 62,567,715,298 |
| 建物 | 東京都千代田区神田駿河台2-1他 | 154,188.07㎡ | 31,800,372,426 |
| 構築物 | 袖看板他 | | 235,404,494 |
| 教育研究用機器備品 | 学習机椅子他 | | 674,344,105 |
| 管理用機器備品 | 会議用机椅子他 | | 553,071,958 |
| 図書 | 専門教育図書他 | | 269,637,540 |
| 車輛 | 公用車 | | 2 |
| 借地権 | 札幌校借地権他 | | 1,138,793,400 |
| 電話加入権 | | | 55,474,848 |
| 有価証券 | 駿台教育センター(株)他 | | 8,157,785,072 |
| ソフトウェア | 学生管理システム開発費他 | | 2,761,396,306 |
| 収益事業元入金 | | | 898,580,830 |
| 長期貸付金 | 関連会社貸付金 | | 4,209,000,000 |
| 退職給与引当特定預金 | | | 1,040,493,628 |
| 保証金敷金 | 自習室保証金他 | | 928,823,704 |
| 預け金 | | | 107,596,004 |
| 固定資産合計 | | | 115,398,489,615 |
| (2)流動資産 | | | |
| 科 目 | 所在地・種類 | 数 量 | 価 格 |
| 現金預金 | 三菱UFJ銀行他 | | 18,945,552,258 |
| 未収入金 | 春期講習会精算金他 | | 378,941,482 |
| 前払金 | 諸経費前払金 | | 14,141,812 |
| 立替金 | 諸経費立替金 | | 82,281,455 |
| 仮払金 | 諸経費他仮払金 | | 348,013,249 |
| 流動資産合計 | | | 19,768,930,256 |
| 資産合計 | | | 135,167,419,871 |
| (二)負債 | | | |
| (1)固定負債 | | | |
| 科 目 | 所在地・種類 | 数 量 | 価 格 |
| 長期借入金 | 三菱UFJ銀行他 | | 22,678,000,000 |
| 退職給与引当金 | | | 2,201,235,285 |
| 預り保証金 | 事務所賃貸保証金他 | | 415,194,404 |
| 固定負債合計 | | | 25,294,429,689 |
| (2)流動負債 | | | |
| 科 目 | 所在地・種類 | 数 量 | 価 格 |
| 短期借入金 | 三菱UFJ銀行他 | | 2,506,000,000 |
| 未払金 | 諸経費他精算金 | | 1,849,153,760 |
| 前受金 | 令和6年度生授業料他 | | 8,928,375,378 |
| 預り金 | 源泉所得税他 | | 514,249,465 |
| 流動負債合計 | | | 13,797,778,603 |
| 負債合計 | | | 39,092,208,292 |

監査報告書

令和6年5月27日

学校法人駿河台学園
理事会 御中

監事 武田伸策 

監事 釜塚慶秀 

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人駿河台学園の令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務遂行の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務遂行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

以上